

# おやま 市議会だより



第262号

## ●主な内容

### 平成25年度一般会計補正予算案を可決 平成24年度全特別会計決算を認定

議案とその内容……………②	特別委員会……………④
請願・陳情……………②	委員会報告……………④～⑤
審議結果一覧……………③	市政一般質問……………⑤～⑨
意見書・人事案件……………③	議会報告会のお知らせ・議会日誌…⑩

平成 25 年 11 月 1 日



コスモス（大字梁）



# 9月

## 定例会のあらまし

平成25年9月2日～9月26日

平成25年第5回(9月)定例会は、9月2日～26日までの25日間の会期で開かれました。本定例会では、平成25年度一般会計補正予算案をはじめ、平成24年度全会計決算の認定案、条例の一部改正案などについて審議しました。

9月2日、市長から市政一般および近況について報告があり、続いて議案25件、報告4件が上程され、提案理由の説明を受けた後、人事案件4件を即決しました。

9月4日～6日は、15人の議員が市政に対して一般質問を行いました。

6日は上程議案に対する質疑の後、各委員会への付託を行い、これを受けて、11日～13日、17日、18日に各委員会がそれぞれ開かれ、付託された議案、請願、陳情について審査を行いました。

26日には、各委員長報告が行われ、審議の結果、議案20件を可決および認定し、議案1件、請願1件、陳情3件を継続審査としました。さらに議員提出の意見書案1件が追加上程され、これも可決し、定例会を閉会しました。

### 主な議案

9月定例会で議決した市長提出議案の中から、主なものをお知らせします。

◆平成25年度小山市一般会計補正予算(第2号)―歳入歳出

それぞれ3億2872万円の減額補正。平成24年度2月補正予算と調整し減額されたものは、石ノ上橋側道橋新設事業費、小山駅東口第二期再整備事業費、都市公園安全・安心対策緊急支援事業費、小中学校普通教室等エアコン設置事業費など。新たに追加増額されたものは、農業者体質強化基盤整備促進事業費、舗装修繕事業費、小中学校校具教材備品整備費など。補正後の予算総額は、601億2808

万円。

◆平成24年度小山市国民健康保険特別会計(事業勘定)ほか7特別会計決算の認定―歳入

決算総額は324億4718万3千円。予算額に対する収入率は100・1%。歳出決算総額は314億4401万1千円。予算額に対する執行率は97・0%。歳入歳出差引額は10億317万2千円。

◆小山市後期高齢者医療に関する条例の一部改正について

―地方税法の一部を改正する法律が平成25年3月30日に公布され、市税の延滞金の利率引き下げに係る改正が平成26年1月1日から施行されることに伴い、所要の改正をする

もの。

改正点 延滞金の割合等の特例の見直しについて、納期限から1ヶ月以内は、特例基準割合に1・0%を加算した割合に、納期限から1ヶ月経過後は、特例基準割合に7・3%を加算した割合にする。

施行日 平成26年1月1日

◆小山市介護保険条例の一部改正について―地方税法の一部を改正する法律が平成25年3月30日に公布され、市税の延滞金の利率引き下げに係る改正が平成26年1月1日から施行されることに伴い、所要の改正をするもの。

改正点 延滞金の割合等の特例の見直しについて、納期限から1ヶ月以内は、特例基準割合に1・0%を加算した割合に、納期限から1ヶ月経過後に、納期限から1ヶ月経過

後は、特例基準割合に7・3%を加算した割合にする。

施行日 平成26年1月1日

●「容器包装リサイクル法を改正し、発生抑制と再使用を促進するための法律の制定を求める意見書」の採択を求める請願

〔提出者〕  
小山市雨ヶ谷824-32

### 請願・陳情

9月定例会では、新たに受理した請願1件と陳情1件、閉会中の継続審査となっていた陳情2件について審査しました。その結果4件とも閉会中の継続審査としました。

#### 新たに受理したもの

請願 1件

●「容器包装リサイクル法を改正し、発生抑制と再使用を促進するための法律の制定を求める意見書」の採択を求める請願

〔提出者〕  
小山市雨ヶ谷824-32

陳情 1件

●小山市に対する小山市小山東部第二土地区画整理事業地内保留地の購入要望について

〔提出者〕  
小山市犬塚8丁目6番地1  
小山市小山東部第二土地区画整理組合理事長 椎名正光

〔趣旨〕当該地区には公共施設が皆無であり、災害時等の緊急避難場所が近場にないことと、避難時に時間を要することが懸念されている。地元住民の安全・安心な暮らしを存続させ、市民としての公平性を確保する観点からも、保

小山の環境問題を考える市民の会 代表 楠 通昭

〔趣旨〕容器包装リサイクル法は上位法である循環型社会形成推進基本法の3Rの優先順位に反し、リサイクル優先に偏っている。資源の無駄遣いによる環境負荷を減らし、デポジット制度導入をはじめ、事業所責任の強化が不可欠となっており、一日も早く持続可能な社会へ転換するため、容器リサイクル法を改正し、発生抑制と再使用を促進するための法律の制定を求める意見書を、国および関係機関に提出してほしい。

▽審査結果 継続審査

平成 25 年第 5 回定例会（9 月）議員別賛否一覧

（全会一致による）

Table with 3 columns: 議案名, 議決結果. Contains items 66-81.

Table with 3 columns: 議案名, 議決結果. Contains items 82-90 and 議案第5号, 請願第25-1号, 陳情第25-4号, 陳情第25-1号, 陳情第25-2号.

※ 議案第 70 号は、議会閉会中に決算審査特別委員会を招集して審査しました。

（起立採決による）

Table with 3 columns: 議員名, 議決結果, 賛反成対. Lists all council members and their votes for item 76.

※ ○=賛成または採択、×=反対または不採択、退=退席、欠=欠席 ※ 議長（大山 典男）は採決に加わりません。

留地の将来的な公共施設としての活用や災害時の緊急避難場所としての利用を考え、市に購入してもらいたい。
陳情 2 件
●「ゆきとどいた教育」の前進をもとめる陳情
▽審査結果 継続審査
●「教育費無償化」の前進をもとめる陳情
▽審査結果 継続審査

定例会最終日、山口忠保議員ほか 5 名の議員から、意見書案が 1 件提出されました。
審議の結果、原案どおり可決し、内閣総理大臣ほか内閣官房長官、関係大臣あて送付しました。
◆地方税財源の充実確保を求める意見書
（趣旨） 地方財政は社会保障関係費などの財政需要の増加や地方税収の低迷等により、厳しい状況が続いている。基礎自治体である市が、住民サービスやまちづくりを行うために、地方税財源の充実確保が不可欠であるため、次の

意見書

◆教育委員会委員の任命
小山市大字延島 1 5 2 6 番地 1 福井 崇昌（再任）
昭和 23 年 8 月 20 日生
◆人権擁護委員候補者の推薦
小山市大字立木 9 5 6 番地 青木 伸道（再任）
昭和 31 年 7 月 3 日生
小山市大字神鳥谷 9 3 5 番地 10 松村 博子（再任）
昭和 21 年 11 月 10 日生
小山市大字寒川 1 0 2 1 番地 青木 忍（新任）
昭和 23 年 2 月 2 日生

事項を實現されるよう強く求める。
1. 地方交付税の増額による一般財源総額の確保
2. 地方税源の充実確保等
◆公平委員会委員の選任
小山市大字立木 1 4 8 4 番地 大森 武男（新任）
昭和 18 年 7 月 21 日生
◆固定資産評価審査委員会委員の選任
小山市大字迫間田 5 7 5 番地 篠原 正巳（再任）
昭和 23 年 11 月 19 日生



人事案件

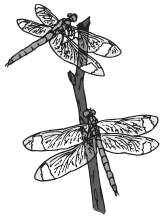


### 特別委員会

定例会最終日、公共施設等の整備、再編の調査研究をするため、議長を除く全議員をもって構成する公共施設等整備調査特別委員会を設置しました。また、小山市市民病院が地方独立行政法人に移行したことから、小山市市民病院整備対策特別委員会を廃止しました。

### 公共施設等整備調査 特別委員会

- 委員長 石島 政己
- 副委員長 野村 広元
- 委員 大木 元 大木英憲
- 福田幸平 植村 一
- 野原勇一 苅部 勉
- 荒井 覚 篠崎佳之
- 小林英恵 森田晃吉
- 橋本守行 岡田 裕
- 福田洋一 中屋 大
- 安藤良子 山野井孝
- 大出ハマ 小川 亘
- 荒川美代子 石川正雄
- 青木美智子 関 良平
- 生井貞夫 塚原俊夫
- 角田良博 山口忠保



### 委員会審査から

議案は、本会議で議決される前に、原則として各委員会で慎重な審査を経ています。9月定例会の委員会審査の中から、主な質疑を紹介します。

### 予算審査



▼平成25年度小山市一般会計  
補正予算(第2号)

問 債務負担行為補正に追加計上の小山市子ども子育て支援事業計画策定業務委託について、事業計画のまどめの時期はいつか、委託先はどこか、また、子ども子育て会議と並行した事業進捗になるのか。

答 事業計画策定については、平成26年1月から3月までに事業計画の検討と骨子案の作成を行い、平成26年4月から27年3月までに事業計画素案の作成、パブリックコメントの実施、事業計画の県知事への提出を行うスケジュールで、平成26年度中の完成を予定しています。委託先は、計画策定業務を請け負えるコンサルタント等への業務委託を考慮しています。また、子ども子育て会議と並行した事業の進捗になり、時間的余裕がなく、切れ間なく事業を進捗するた

めに、平成25年度中に契約を行う必要があり、今回債務負担行為を計上しました。

問 教育振興費に計上の地域とともにある学校づくり検討委員会費について、事業は具体的によろしく進めていくのか。

答 地域とともにある学校づくり検討委員会費については、地方教育行政の組織及び運営に関する法律にあるコミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)の活用推進のため国からの委託により、市町村教育委員会等がこれからコミュニティ・スクールを導入しようとする各学校の実情に応じて、制度運用の方策等を研究する事業です。この事業は全額国の補助で、今回補正計上されている75万円、小山第一小、豊田北小、梁小の3校に本年度の導入を予定しており、各校25万円の予算で、協議会の設置に向けた課題の解決方策や設置後の運用等の実践研究を推進したいと

考えています。  
問 学校管理費に計上の校具教材備品整備費の内容は。

答 国の平成24年度の補正予算で、理科教育設備整備費等補助金100億円が計上され、補助率2分の1のこの補助金を使い、各学校の理科教育の整備を図るものです。  
国の基準で小中学校1校一律50万円の整備が可能となっており、小山市においても小学校27校、中学校11校を対象に一律50万円の整備事業を計画しているもので、単価の高い百葉箱や人体模型等の備品や、顕微鏡を複数購入するなど、まとめて理科教材等の備品の整備を図るものです。

### 決算審査



今回の委員会では、各部長等から主要事業等の説明を受けた後、平成24年度一般会計歳入歳出決算の認定について、閉会中の継続審査とすることに決しました。

### 総務



▼小山市職員の給与に関する条例の一部改正について  
問 一部改正の経緯と目的は。

答 近年、条例制定時には予想しなかった環境省や大崎市、東松島市などへ職員を派遣しており、地域手当を国に準じた級地区分に改正し、遠隔地への異動に対応するものです。

▼建設工事請負契約の締結について  
問 問々田乙女地区排水機場建設工事における旧排水機場撤去工事の内容は。

答 現在のポンプ施設および管理棟コンクリート構造部の撤去を予定しています。  
問 新しい問々田乙女地区排水機場の供用開始時期は。

答 平成27年5月までにポンプの設置を行い供用開始予定です。現在の排水機場は平成26年末まで稼働させますが、設置には約5カ月かかり、この間は使用できません。

問 約5カ月間使用できないことで市民に支障はないか。

答 支障のないようポンプ設置時期は非出水期を選び、併せて工期短縮も図ります。

### 民生消防



▼小山市国民健康保険特別会計(事業勘定)歳入歳出決算の認定について  
問 平成24年度決算では、国

民健康保険税の収納率が県内最下位を脱したとのことだが、県内何番目になるのか。

答 平成21年度から平成23年度まで国民健康保険税の収納率は県内最下位でしたが、平成24年度は速報値で県内26市町のうち、24番目となり、最下位を脱しました。

▼平成24年度小山市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について

問 小山市の高齢化率は。答 平成24年度が19・54%、平成25年度は4月1日現在で20・42%です。

▼小山市後期高齢者医療に関する条例の一部改正について

問 後期高齢者医療保険料延滞金の引き下げの特例期間を1カ月とした根拠は。答 後期高齢者医療は、国民健康保険に加入している方が75歳になった時点で加入する保険であり、後期高齢者医療保険料と国民健康保険税との整合性を持たせるため、国民健康保険税に倣い、延滞金の

特例期間を1カ月としました。

### 教育経済



▼平成25年度小山市小山第四工業団地造成事業特別会計補正予算(第1号)

問 造成事業の進捗状況と今後のスケジュールは。答 今年度は、水道配水管の接続工事や調整池の工事、埋め立て工事の一部や県道との接合部分の道路工事に着手しています。来年度以降も、埋め立て工事等を進め、平成27年度中に工事完成、平成28年度から工業団地の分譲開始を予定していますが、できれば平成27年度から予約分譲を開始したいと考えています。

▼平成24年度小山市農業集落排水処理事業特別会計歳入歳出決算の認定について

問 農業集落排水使用料の不納欠損額の状況は。答 平成19年度分の14件、33万2160円が不納欠損となりました。滞納者には、督促状や催告書の発送、電話催告や臨戸訪問等を行っておりますが、今後も引き続き、未払い者の状況に合わせた訪問や電話催告等の滞納整理を進めていきます。

### 建設水道



▼平成24年度小山市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について

問 管路管理費における下水道台帳作成業務委託費はどのようなものか。答 前年度に整備された下水道の接続状況を台帳に追記していく業務であり、下水道が整備されている限り毎年委託するものです。

▼小山市地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部改正について

問 建築物の用途の制限をどういう範囲で想定しているか。答 病院本体とそれに付随する車庫や倉庫等を想定しています。

問 病院の用途の制限外にあると思われる健康医療介護総合支援センター等の地区計画も今後策定されるのか。答 平成18年の都市計画法改正に伴い、病院については地区計画に基づき開発許可を行いますが、他の施設については、適用除外で立地可能となりますので地区計画は必要ないと考えています。

## 市政を問う

9月定例会市政一般質問

9月4日から6日にかけて、15人の議員が市政の諸問題や将来の展望などについて一般質問しました。

### 学校統廃合、小中一貫校

石島 政己

問 小山市の学校の適正規模の考え方が示されたことにより、学区の見直しと合わせて、統廃合や小中一貫校の具体的な方針について伺いたい。

答 教育部長 学校適正配置については学校適正配置等検討懇話会において、昨年に小山市の学校適正配置等に関する基本方針(中間まとめ)が策定され、現在それに基づき中学校の学区を基本単位として学区・学校の再編を含め検討しており、12月までの検討で基本方針を提言する予定です。また、小中一貫校については

### 市道19号線の歩道整備

問 市道19号線の向田橋から県道結城・二宮線までの歩道を整備し、安全対策を講じてほしいが。

答 市長 県道宇都宮・結城線から県道結城・二宮線までの道路整備は、昭和60年代前半に幅員を約9mに拡張整備し、その後も部分的な舗装修繕を実施してきましたが、全体の



### 議会だより表紙写真募集

● あなたも「議会だより」に写真を投稿してみませんか。  
● 写真は「議会だより」の発行月(1月・2月・5月・8月・11月)に合わせて小山市内の季節感のあるものを募集しています。  
● あて先/小山市中央町1丁目1番1号 小山市議会事務局  
● 問い合わせは: 議会事務局(☎2294663)までお気軽に!



な舗装修繕が必要と考え、道路ストック総点検業務による路面状況等の調査も実施していました。そのような中、地元自治会から全線舗装修繕要望が提出されましたので、国庫補助事業を利用し平成26年度より整備をしていきます。



市道19号線向田橋

社会インフラ維持管理・更新 関 良平

問 社会インフラ維持管理・更新対処を検討しているのか。 企画財政部長 社会インフラの経年劣化等への対策が大きな財政負担となることが見込まれるため、本市では平成25年4月に小山市公共施設長寿命化検討プロジェクトを立ち上げ、従来の対症療法的管理から予防的管理へと転換するための小山市公共施設長寿命化計画を策定し、今後想定される施設改築や更新に要する財政負担の平準化を図っている。

くこととしています。既に本市では橋梁、公営住宅の長寿命化計画を策定しており、小中学校は平成24年度をもって耐震補強が完了しております。今後は、小中学校や公民館等も長寿命化計画の策定を予定しています。

大谷地区中心施設整備

問 大谷地区中心施設整備事業について。

市民生活部長 大谷地区において平成24年1月に実施したアンケートでは、施設を必要とする意見が6割を占め、また施設に求める機能は年齢により多様であることから、多世代が利用できる複合的な機能を有する施設整備を検討することが必要と考えています。また、施設整備に向けて建設場所の選定が重要と考えることから、本年度は地元の関係団体で構成する小山市大谷地区中心施設整備検討懇話会を設置し、施設整備のあり方などを検討し、総合計画に反映していく予定です。

低所得世帯の学習・生活支援

青木 美智子

問 経済的格差が教育格差を生んでいる。こどもの貧困の

市 政 一 口 メモ

※1 ファミリーサポートセンター  
アドバイザーが仲介となり、子育て中の方の仕事や育児の両立をサポートする会員相互の有償の援助活動を行う窓口。相互援助活動の報酬は、援助活

動終了後、依頼会員から提供会員に直  
接支払われる。  
主な育児援助内容は、保育施設等の  
開始前や終了後の預かり、保育施設ま  
での送り迎えなど。

連鎖を断ち切るため低所得世帯の学習支援や生活支援を。

教育長 教員OB、地域の人材や大学生のスクールサポート等を活用し、放課後や休日に学習支援ができるかどうか研究します。

副市長 ひとり親家庭への支援として、教育訓練給付金や高等技能訓練促進費の支給、家庭生活支援員派遣、児童扶養手当支給、医療費助成、福祉基金貸付等を行い、学童保育料の助成制度創設のため、

保健福祉部長 家庭生活支援員の派遣は、所得により低料金または無料で提供されています。また、ファミリーサポートセンターでのひとり親家庭の利用料減額については、今後研究していきます。

ごみ減量化、リユース促進

問 新焼却炉の建設に併せて、ごみの減量化に向けて、レジ袋の有料化、給食の牛乳瓶の

使用等、発生の抑制とリユースの促進を。

市民生活部長 市では、レジ袋をごみ袋として再利用しており、継続の要望もあるため、ごみ袋の有料化は他市町の状況も調査し、実施に向けて研究します。また、店舗には、

教育部長 牛乳瓶の使用は賛否両論ありますが、瓶の生産の確保が必要であり、飲み心地や環境負荷、安全性、学校の意向も踏まえて検討します。

広域組合訴訟問題

石川 正雄

問 広域組合訴訟問題について、現在までの負担額、市長の責任について問う。

副市長 組合は、仙台高等裁判所の判決により、損害賠償金、遅延損害金、土地賃料相当額、訴訟費用、合わせて2億9092万8355円を県南衛生工業に支払いました。

職員採用、時間外勤務

問 小山市の職員採用、時間外勤務について問う。

総務部長 職員採用は、退職者の補充が基本ですが、業務効率化を勘案しながら人員を精査し、必要最低限の採用を行っております。また、職員採用は公平公正でなければならず、合否は受験成績により決定し、親族調査を反映することはありません。時間外勤務については、所属長に命ぜられ

市長 焼却灰の品質は、裁判所で適切であったと認定されています。

た場合、従わなくてはなりません。また、時間外に業務を行うことが分かっている場合は、時差出勤制度があります。世界水泳の応援は、複数の職員が交代勤務し、時間外勤務と時差出勤で対応しました。

## 市民後見制度

荒川美代子

**問** 病気や高齢、障がい等で判断力の不十分な人をサポート支援するための市民後見制度を周知するべきでは。

**市長** 平成24年度から市民後見制度が創設され、市民後見人として活動を希望される一般市民の方を対象に市が研修を行い、業務を実施する上で必要な知識や技能、倫理などを学んでもらい、第三者後見人の担い手として活動していただくようになりました。一方で、小山市ではまだ成年後見についての知識は広く一般に周知されていない状況であるため、制度の利用や支援

について広く周知していきたいと考えています。また、市民後見制度についての講演会等を開催し、広く制度について学ぶ機会を設けていきたいと考えています。

## 県フィルムコミッション

**問** 栃木県フィルムコミッションのロケ・ナビに小山市でも登録しているが、その経済効果は。

**経済部長** 栃木県フィルムコミッションのホームページには、現在小山市から21か所のロケ地情報を掲載しています。小山市内においても、数々の映画やテレビ番組の撮影が行われています。これらの撮影に際しては、スタッフや関係者の宿泊場所、食事、その他もろもろの費用による経済効果があります。さらに撮影場所が観光スポットとして注目されることで観光客の誘致にもつながり、さらなる経済効果が期待される

ます。今後も、小山市内のロケ地情報を積極的にPRし撮影を誘致することで、市の認知度・イメージアップと地域経済の活性化を図っていきたいと考えています。

## 街路樹の管理

山野井孝

**問** 街路樹は、手入れを怠れば視界の妨げとなり交通事故の原因となる。現状の街路樹の管理について。

**建設水道部長** 市が管理する街路樹等は、延長約54km、高木約4100本、低木1万5千mです。管理の状況は、高木中の消毒を年3回から5回、高木剪定は繁茂状況を確認しながら3年に1回程度、低木の剪定は繁茂状況を確認しながら2年に1回程度実施し、除草等については、年1回から2回程度実施しています。また、市民の皆様からの通報等により現地を確認した上で、剪定や除草等を随時実

施しています。担当課においても定期的に道路パトロールをしており、不備な箇所を発見に努めています。今後さらに職員力を活用して道路環境の美化に努めていきたいと考えています。



街路樹の管理

## 小中学校の外壁改修

**問** 吹き付けの剥がれ、雨だれ等で汚れの程度がひどい小中学校の外壁について、改修する考えはあるか。

**教育部長** 学校施設は、子どもたちにとって一日の大半を過ごす学習、生活の場であり、学校教育活動を行うための基本的な教育条件の一つです。このため、子どもの学習および生活のための空間として、豊かな人間性を育むにふさわしく、十分な防災性、防犯性など安全性を備えた安心感のある施設を確保するとともに、

外観にも配慮が必要であると認識しています。平成24年度末で校舎等の耐震化事業が完了しましたので、安全性の確保ができた校舎等をより有効に活用できるよう適正な維持管理に努め、さらに長く利用できるよう長寿命化計画を策定し、校舎の保護のための外壁塗装や屋根の防水改修などの検討を進めます。また、学校の適正配置と併せて、改修の順番等についても検討していきます。

## 渡良瀬遊水地エコミュージアム

橋本守行

**問** ラムサール条約湿地登録されている渡良瀬遊水地をエコミュージアムとして、どのように活用するのか。

**副市長** ラムサール条約湿地登録は、ラムサール条約の目的とする賢明な活用の始まりであり、小山市は第一に治水機能確保を優先としたエコミュージアム化、第二にトキ、コウノトリの野生復帰、第三に環境に優しい農業を中心とした地場産業を推進していきます。渡良瀬遊水地第2調節池の湿地保全再生により整備される浅い池、深い池、それをつなぐ水路、木道等の活用

## 政 市

一口メモ

※2 フィルムコミッション  
映画等の撮影場所誘致や撮影支援をする機関。地域活性化、文化振興、観光振興を図ることを目的とされるため、地方公共団体や観光協会が担当している。

ることが多い。栃木県フィルムコミッションは、平成18年5月に設立し、県の魅力を広くアピールすることでイメージアップと地域活性化を目指している。



については、大自然に触れながら楽しく遊べるエココミュニティアムとして活用し、子ども達が遊びながら湿地の貴重な動植物を学ぶことのできる場の創出を図っていきます。

小中学校一貫教育

問 小中学校の一貫教育をもとに、小山市では一貫校をどのように目指していくか。

教育部長 小学校と中学校の校舎の立地条件を考えた場合は、互いの校舎が近くにある小中一貫校は、多様な教育活動を実施することができ、また年齢の離れた学年との触れ合いや学び合いが可能となるため、小学生にはプラス面が大きいと考えられています。今後は、このような理想型、また併設型の小中一貫校を設置できるよう進めていきたいと考えていますが、隣接する用地の確保が困難な地域もあるので、統合型、併設型だけでなく、幅広い形態の小中一貫教育を推進していきたいと考えています。

大谷地区の豪雨時雨水対策

大木 元

問 豪雨等の災害時における大谷地区市街化区域の雨水対

策について、今後どのような施策を講じていくのか。

都市整備部長 平成20年度に雨ヶ谷地区を3地区に分け、調整池を設置するなどの計画を立て、雨水被害を解消するための計画を作成しました。平成23年度に都市計画道路3・4・101城東線の東側、大川支線水路を排水区域とする50haの区域の調整池が完成しました。今年度は調整池の下流にある用水の堰を自動転倒堰に改修し、水路の水を流れやすくする計画です。今後も計画の早期完成を目指し、さらなる雨水対策を図ります。

大谷東小校舎増築

問 児童数の増加に伴う大谷東小学校の教室不足に対する校舎増築について、どのように進捗しているのか。



大谷東小学校校舎

市政メモ

※3 福祉避難所

高齢者や障がい者、妊婦ら災害時に援助が必要な人たち（要援護者）に配慮した市町村指定の避難所。耐震のほか、ポータブルトイレや手すり、仮設

スロープなどのバリアフリー化が図られた構造を備え、介助員を置くなど条件で、老人ホームや障がい者擁護施設などの既存の施設を活用することが多い。

個人質問（質問順）

災害時要援護者

山口 忠保

市長 大谷東小学校は、近年児童数の増加が著しい状況です。今後も毎年児童数が増加し、教室が不足するものと考えています。このため、平成25年度予算で増築の設計予算を計上していますが、現在の大谷東小学校の敷地内に増築すると校庭も狭くなり、教育環境への影響も考えられるため、学校敷地の拡張も検討しています。

問 災害対策基本法改正に伴い、災害時要援護者名簿の拡充、個別プランの見直しおよび福祉避難所の設置等を図れ

市長 民生委員児童委員が行う「災害時ひとりも見逃さない運動」による個別訪問で、災害時要援護者の登録希望者の把握に努め、その情報をも

とに災害時要援護者台帳個別プランを作成しています。作成した名簿を適切に活用し、要援護者を災害から保護することを第一に考え、より効果的な避難支援体制の整備に努めていきます。

の意識を高めることが大切であると考えています。市教育委員会主催の研修会や各学校における校内研修の充実を図り、児童生徒や保護者の声に耳を傾け、家庭との連携や信頼づくりになお一層努めるよう指導を進め、体罰の根絶を図っていきます。

保健福祉部長 小山市では福祉避難所が現在ないため、指定避難所内に介護や医療相談などを受けられるスペースを確保することで対応し、より専門性の高いサービスが必要な要援護者については、県内他市で行っている民間福祉施設との協定による福祉避難所指定を検討していきます。

児童虐待については、学校ではあらゆる機会において早期発見、早期対応に努めています。関係機関と必要な情報の共有、対応策検討会議の開催など、相互に連携を図りながら取り組んでいます。

体罰問題・児童虐待問題

野原 勇一

問 体罰問題・児童虐待問題に対して、今後小中学校における取組体制をどのように考え、実行していくのか。

教育長 体罰問題について、教師一人一人が根絶に向けて強い意志を持つことや人権へ

城山公園の有効活用

植村 一

問 城山公園を市民の皆様が親しまれ安全に利用できる公園として有効活用していくことについて、市の考えは。

副市長 来訪者が安心して快適に利用できる空間として再生整備するため、城山公園再生整備計画策定懇話会を平成



23年度に設置しました。懇話会での検討の結果、公園内の暗がりを解消し、来訪者の安全を確保するとともに、既存の桜の保護を図るため、間伐や剪定を順次進めています。今後も懇話会での意見を踏まえ、史跡整備などを図りながら、来訪者が多数訪れ、安心して憩える場および魅力ある空間として再生整備を進めていきます。



城山公園のぎおんばし

**B型肝炎ワクチン助成**

岡田 裕

問 B型肝炎ワクチンの予防接種に関し、乳幼児に対し新

規助成制度はできないか。保健福祉部長 B型肝炎ワクチンの助成制度は、平成24年度小山地区医師会から要望書が提出されましたが、財政的な理由で、水ぼうそう、おたふく風邪の一部助成を優先し今後検討していくこととしますが、このワクチンを接種することで、体内に抗体をつくり、免疫力を高め、感染予防と重症化を防止するためには有効なものと認識しています。B型肝炎ワクチンは乳幼児期に3回の接種が必要となるので、保護者の経済的負担の軽減を図るためにも今後検討していきます。

**栗宮新都心構想**

小林 英恵

問 栗宮新都心構想の進捗状況について。

都市整備部長 平成25年6月に策定した栗宮新都心構想を受け、今年度は、地元自治会

やまちづくり研究会等の代表者で組織する懇話会および都市整備委員会の意見を伺いながら基本計画を策定します。

国道4号歩道拡幅整備、狭隘道路の拡幅や生活道路の整備等既存市街地のまちづくりを進めている栗宮まちづくりを核とするゾーンでは、国土交通省により、今年度栗宮工区の国道4号歩道拡幅整備調査設計が新規採択となったことを起爆剤として、既存のまちづくりの内容と整合のとれた土地利用計画や道路交通計画ならびに公園や緑地等に関する保全計画を策定し、その実現に向けた市街地整備計画の検討を行います。市民病院を核とするゾーンでは、土地利用計画や道路交通計画ならびに緑地等に関する保全計画を策定し、その実現に向けた手法の検討を行います。さらに、企業の旧社宅用地や公共住宅用地の新たな開発の可能性を検討します。

**市営住宅**

篠崎 佳之

問 市営住宅の総戸数、入居率および納付率は。また今後の運営方針、建て替え計画および滞納者に対する対策は。

建設水道部長 市は、21団地814戸を管理し、入居率は93・8%、収納率は平成24年度分が年度末時点で89・1%です。今のところ新たな建設計画はありませんが、建物の維持管理は、長寿命化計画に基づき10年間の修繕、改修を計画し、実施しているところです。住宅使用料の滞納は、市営住宅使用料滞納整理計画に基づき、催告書送付、月1回の夜間電話催告または夜間臨戸訪問、年6回の休日臨戸訪問を実施し、世帯状況の把握や納付指導を行い、収納の確立・向上を図っています。



市営住宅の維持管理

**ジェネリック医薬品**

荻部 勉

問 ジェネリック医薬品の使用促進のために薬代の差額通知事業を導入してほしいが市の考えは。

市民生活部長 ジェネリック医薬品の普及効果としては、被保険者は自己負担額の軽減、期待できますが、普及を図るためには医療機関や調剤薬局の理解と協力が必要となるので、小山地区医師会など関係機関と協議していきたいと考えています。その後、ジェネリック医薬品に変更した場合の自己負担額の差額を通知することで、使用促進に努めたいと考えています。

市政  
一口メモ

※4 ジェネリック医薬品  
医薬品の有効成分そのものに対する特許である物質特許が切れた医薬品を、他の製薬会社が製造、供給する後発医薬品。厚生労働省から、先発医薬品と

同等の効能、効果が得られると認められている。金額も3〜5割程度安くなるため、医療費の抑制につながる事が期待できる。

**平成25年第5回定例会の傍聴者数**

9月定例会の傍聴者数は、70人でした。

9月2日	1人
4日	13人
5日	10人
6日	44人
26日	2人

議会日誌

- 〔7月〕
  - ▽2日 会派代表者会議／各種委員会委員等選考委員会
  - ▽8日 会派代表者会議
  - ▽10日～11日 全国市議会議長会研究フォーラム（北海道旭川市）
  - ▽18日 議会広報委員会
  - ▽23日 県南6市議会議長会定例会・研修会
  - ▽31日 県市議会議長会研修会
  - 〔8月〕
    - ▽7日 会派代表者会議／執行部との定例懇談会
    - ▽18日 議員説明会
    - ▽20日 議会運営委員会
    - ▽27日 議会運営委員会／会派代表者会議
    - 〔9月〕
      - ▽4日 議会広報委員会／会派代表者会議
      - ▽5日 議会改革推進協議会
      - ▽6日 議員説明会／会派代表者会議／議会報告会運営委員会
      - ▽11日 民生消防常任委員会
      - ▽12日 教育経済常任委員会
      - ▽13日 建設水道常任委員会
      - ▽17日 総務常任委員会
      - ▽18日 予算審査特別委員会／決算審査特別委員会／議会改革推進協議会
      - ▽20日 議会／議会報告会運営委員会
      - ▽26日 議会運営委員会／議会報告会全体会議／小山駅周辺都市整備対策特別委員会
      - 〔10月〕
        - ▽1日 宇城市（熊本県）6名  
 〓 小規模特認校制度、奨学金制度
        - ▽3日 羽島市（岐阜県）6名  
 〓 新消防庁舎、高機能消防指令センター
        - ▽8日 三島市（静岡県）4名  
 〓 ラムサル条約湿地登録渡良瀬遊水地の活用
        - 〔10月〕
          - ▽10日 網戸小学校、下生井小学校・17名

視察来訪

- 〔7月〕
  - ▽25日 東金市（千葉県）3名  
 〓 配食サービスと高齢者見守りの連携、博物館・文書館での古

議場見学

- 〔10月〕
  - ▽10日 網戸小学校、下生井小学校・17名

文書・公文書の保管

〔10月〕



東京オリ  
ンピック招  
致活動で、  
滝川クリス  
テルさんは、「おもてな  
し」という言葉で日本を  
紹介したところ、巷では  
それが流行語のようにな  
っています。この言葉は  
先祖代々受け継がれてき  
たはずでしたが、私たち  
はそれを忘れかけていた  
のではないのでしょうか。  
日本経済の成長に比例  
し核家族化や長寿化が進  
み、独居老人の世帯が増  
える等、近所付き合いも  
少なくなっている現在だ  
からこそ、皆が地域で  
「おもてなし」の心を持ち、  
ボランティア活動等を通  
じて地域のネットワーク  
を再確認し、安心安全な  
社会を目指していきたい  
ですね。そして、来春の  
消費税増税が低所得者の  
生活を圧迫させない、よ  
り良い社会づくりのため  
の方策とならなくては  
いけないことは、言うま  
でもありません。

（橋本）

第3回小山市議会報告会について

小山市議会では、議員が地域に出向き議会活動状況を市民の皆様に報告・説明をし、意見交換を行う『議会報告会』を実施いたします。

議会報告会開催日程

日時	会場
11月18日(月) 午後6時30分～	小山城南市民交流センター
	間々田市民交流センター
11月20日(水) 午後6時30分～	大谷公民館
	絹公民館
11月21日(木) 午後6時30分～	豊田公民館
	桑公民館

※会場の地域に関係なく、どの地域の報告会に参加いただいても結構ですので、お気軽にお越しください。

次回定例会の予定

11月28日(木)	本会議(開会・議案上程)
12月2日(月)	本会議(一般質問)
12月3日(火)	本会議(一般質問)
12月4日(水)	本会議(一般質問)
12月5日(木)	本会議(一般質問・付託)
12月9日(月)	委員会
12月10日(火)	委員会
12月11日(水)	委員会
12月12日(木)	委員会
12月13日(金)	委員会
12月20日(金)	本会議(採決・閉会)

※正式な日程は、後日開催する議会運営委員会にて決定しますのでご了承ください。